

## 特色ある区づくり事業 実績報告書

事業名	地域子育て支援事業		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の子育て・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み		
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他( )		
事業期間	平成29年4月1日 ~ 令和2年(2020年)3月31日		
担当所属	北区健康福祉課		
実施年度	平成29年度(1年目)	平成30年度(2年目)	令和1年度(3年目)
事業費	2,488,383円(決算額)	2,544,843円(決算額)	2,600,000円(予算額)
計画内容 (手段に対して)	①支援拠点施設等での子育て支援講座の実施 ・パパ向け子育て支援講座・北区パパスクール 4回開催 参加:保護者22名(延) ・傾聴スキル習得講座の開催 講演・演習を4日間 保育園職員14名参加 ・ノーバディーズ・パーフェクト(NP講座)開催 1クール目 保護者8名(実)、38名(延) 2クール目 保護者13名(実)、60名(延) ②子育て情報誌による北区の子育て情報の発信 ・北区子育てガイドブック「ままKiTa」の発行 作成部数:3,500部 子育て支援センター・幼稚園・小児科等 ③地域での子育てや家族を支え合う体制づくり ・子育て応援カフェモデル事業 早通健康福祉会館 「ベビーカフェびよびよ」5回開催 参加:保護者22名(延)・こども18名(延) ④児童の福祉向上に寄与するイベントの実施 ・北区ふゆっこまつりの開催 参加者総数:2,400名(来場者:2,100名)	①支援拠点施設等での子育て支援講座の実施 ・パパ向け子育て支援講座・北区パパスクール 4回開催 参加:保護者30名(延) ・傾聴スキル習得講座の開催 講演・演習を4日間 保育園職員等13名参加 ・ノーバディーズ・パーフェクト(NP講座)開催 1クール目 保護者11名(実)、51名(延) 2クール目 保護者8名(実)、31名(延) ②子育て情報誌による北区の子育て情報の発信 ・北区子育てガイドブック「ままKiTa」の発行 作成部数:3,500部 子育て支援センター・幼稚園・小児科等 ③地域での子育てや家族を支え合う体制づくり ・子育て応援カフェモデル事業 早通健康福祉会館 「ベビーカフェびよびよ」11回開催 参加:保護者51名(延)・こども73名(延) ④児童の福祉向上に寄与するイベントの実施 ・北区ふゆっこまつりの開催 参加者総数:2,700名(来場者:2,400名)	①支援拠点施設等での子育て支援講座の実施 ・パパ向け子育て支援講座開催 ・傾聴スキル習得講座の開催 ・ノーバディーズ・パーフェクト(NP講座)開催 ②子育て情報誌による北区の子育て情報の発信 ・北区子育てガイドブック「ままKiTa」の発行 ③地域での子育てや家族を支え合う体制づくり ・子育て応援カフェモデル事業の実施 ④児童の福祉向上に寄与するイベントの実施 ・北区ふゆっこまつりの開催
実績 (日付、場所、内容、 人数等具体的に 記載)			
評価・課題・方向 性等	子育て支援講座の実施については、地域の中で定着した事業となってきている。各講座受講者からは、「受講して良かった」とのお声を多くいただいている。「NP講座」は、講座終了後も、事業でかかわった保護者同士での支え合いにつながっている。「傾聴スキル習得講座」は、演習を通し支援者のスキルアップにつながっている。「北区パパスクール」は、受講者の中から「北区パパサークル」が誕生し、パパたちの主体的な取り組みも始まっている。「ベビーカフェびよびよ」は、「地域にこういう場所があって良かった」とのお声をいただいております。地域からの利用者が口コミで広がっている。北区ふゆっこまつりでは、多くの親子に楽しんでいただけるだけでなく、イベントでかかわった関係機関同士の連携のきっかけにもなっている。「ままKiTa」の発行により、保護者目線で得たい情報を発信し、間接的に子育て世代の支援につながっている。今後について、事業趣旨は継承しつつ、いかに子育て世代の実情やニーズに沿った内容に随時修正・更新していくことができるか、が課題と考える。		

## 特色ある区づくり事業 実績報告書

事業名	認知症予防(もの忘れ検診)事業		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み		
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他( )		
事業期間	平成29年4月1日 ~ 令和2年(2020年)3月31日		
担当所属	北区健康福祉課		
実施年度	平成29年度(1年目)	平成30年度(2年目)	令和1年度(3年目)
事業費	969,071(決算額)	797,704(決算額)	900,000円(予算額)
計画内容 (手段に対して)	<p>①もの忘れ検診実施状況 受診者:2,299名 異常なし:2,232名 要経過観察:44名 要精密検査:23名 要精密検査となった23名の内、精密医療機関で診断がついた方は19名 (MCI:6名、アルツハイマー型認知症:4名、脳血管性等の認知症:1名、精神科圏の病態:1名、その他:2名、異常なし:5名)</p> <p>②啓発活動:チラシ・ポスターの配布と区だより掲載(実施医療機関、薬局、公共施設など)</p> <p>③検討会の開催:1次検診医・精検医等と2回、フォロー体制検討会を3回開催した。</p> <p>④認知症予防講演会の開催 開催日:3月24日(土)午後 講師:遠藤 英俊 (国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター長) 会場:葛塚コミュニティセンター</p>		
実績 (日付、場所、内容、人数等具体的に記載)	<p>①もの忘れ検診実施 受診者:1,393名 異常なし:1,376名 要経過観察:4名 要精密検査:13名 要精密検査となった13名の内、精密医療機関で診断がついた方は11名 (MCI:5名、アルツハイマー型認知症:3名、脳血管性等の認知症:1名、その他:1名、異常なし:1名) ※要経過観察・要精密検査者17名全員に地域包括支援センターが関わり、必要に応じた地域サービスへつながっている。</p> <p>②啓発活動 :4月にもの忘れ検診チラシを全戸配布。関係機関へチラシ・ポスターの配布。区だより掲載。</p> <p>③検討会の開催 ・10月検討会開催</p> <p>④認知症予防講演会の開催 3月23日(土)午後1時30分~5時10分 第1部:区民 認知症予防講演会 120名参加 第2部:専門職 認知症支援研修会 43人参加</p> <p>⑥脳トレ講座開催 2会場で開催 38名参加 ⑦脳の健康教室OB会 早通健康福祉会館で5回実施。延52名参加。</p>		
評価・課題・方向性等	<p>「主管課としての事業評価」 H30年度のもの忘れ検診の受診数は初年度と比べ減少しているが、患者数が多いと言われている70歳代の方が多く受診していること(70歳代の受診者:H30年度全体の56.8%、70歳代の2年連続受診者:60.2%)、要精検者からアルツハイマー型認知症や軽度認知障がい(MCI)など診断され、早期に治療を開始することができたことから、事業実施の意義は高いと考える。要精検・要経過観察の方については、本人同意により、かかりつけ医から地域包括支援センターへ連絡を行い、早期に地域でのケアや支援につながるようなフォローの実施など連携体制システムを展開している。</p> <p>「関係機関からの声」 医師や地域包括支援センターから、もの忘れ検診実施により連携が取れ、認知症の早期発見・支援により、本人・家族のよりよい生活の手助けとなっているとの意見をいただいた。</p> <p>「課題」 特定健診と同時にかかりつけ医で予約・受診してもらっている。特定健診受診率が低いため、もの忘れ検診の受診数も伸びない。</p> <p>「今後の方向性」 多くの方にとって受けていただけるよう、検診カレンダー、チラシ等により周知を図る。検診結果で支援が必要な人に対して、関係機関同士の連携が取れ、対応されているか確認していく。</p>		

## 特色ある区づくり事業 実績報告書

事業名	介護予防のための専門職派遣事業		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み		
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他( )		
事業期間	平成30年4月1日 ~ 令和3年(2021年)3月31日		
担当所属	北区健康福祉課		
実施年度	平成30年度(1年目)	令和1年度(2年目)	令和2年度(3年目)
事業費	505,968円(決算額)	800,000円(予算額)	800,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	高齢者が集まる場所やコミュニティセンターなどへ、リハビリテーション等に関する専門的知見を有する者を派遣し、介護予防に関する健康講座を開催。	高齢者が集まる場所やコミュニティセンターなどへ、リハビリテーション等に関する専門的知見を有する者を派遣し、介護予防に関する健康講座を開催する。	高齢者が集まる場所やコミュニティセンターなどへ、リハビリテーション等に関する専門的知見を有する者を派遣し、介護予防に関する健康講座を開催する。
実績 (日付、場所、内容、人数等具体的に記載)	①派遣専門職 理学療法士、作業療法士、栄養士、 歯科衛生士 ②派遣回数 54回派遣 ③受講者 延べ1,075人参加	①派遣専門職 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、 栄養士、歯科衛生士 ②派遣回数 63回派遣予定	①派遣専門職 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、 栄養士、歯科衛生士
評価・課題・方向性等	<p>○主管課としての事業評価            新潟リハビリテーション病院、職能団体から講師を派遣し、実効性のある講座を開催することができ、受講者からも好評であったため事業実施の意義は高いと考える。</p> <p>○参加者の声            ・専門家の方が工夫を凝らし、年配者にとってわかりやすい内容だった。            ・高齢になると自ら出かけて講話を聞くことが難しくなるため、講師派遣はありがたい。            ・教えてもらった体操を、今後茶の間の会のはじめに行うことにした。</p> <p>○課題と今後の方向性            健康寿命の延伸、要介護・要支援認定者数の増加抑制に寄与するまでには時間を要し、すぐに効果があらわれるものではないが、当該事業で習得した知識をいかし、自ら継続して介護予防に取り組む高齢者が増えるよう、今後も関係機関と連携し、介護予防の知識・方法を提供していく。</p>		